



あさとしょかんだより



2021年 3月号



平成23年3月1日、東日本大震災が発生しました。ちょうど10年前のことです。

地震による津波により、多くの命が奪われました。震災を受けた人々の心はまだ元気になっていません。

絵本を読んで震災を知り、震災を受けた人々の心にそっと寄り添ってみませんか？

★「希望の牧場」 森絵都:作 吉田尚令:絵 岩崎書店(KPヨ)

★「およぐひと」 長谷川集平:作 解放出版社(KPハ)

★「はしれ、上へ！」
指田和:文 伊藤秀男:絵 (KPイ)

釜石の子どもたちの実話



立ち入り禁止区域に残された牛を守る！

おひなさま ギャラリー



園児さんのかわいい作品がいっぱい

としょかんや
ふくごうせつないの
てんじのようす

ほのほの

※ てんじは、3月7日(にち)まで

＜3月の休館日＞1・8・11・15・20・22・29日

＜4月の休館日＞5・8・12・19・26・29日



1 ・ 2 年 生 お す す め



「ちいさなバレリーナ はじめてのバレエきょうしつ」

あさひな さく え こうだんしゃ
朝比奈 かおる:作・絵 講談社 (KPア)



バレエってどんなふうにはじめるのかな？
まいちゃんは、いえの近くにあるバレエきょうしつをまどからのぞいています。
家に帰って一人でおどっていると、お母さんが「けんがくにいってみる？」と
たずねます。「ほんと？ やったー！」まいちゃんは、およろこび。
きれいなドレスにみとれているまいちゃん。
かわいらしいもうそうが、とまりません。
なにかをはじめたくなる、おはなしですよ。



3 ・ 4 年 生 お す す め



「しゅくだい なかなかおり」

ふくだ いわお さく けんきゅうしょ
福田 岩緒:作 PHP研究所 (KFフ)



大好きな友だちとけんかしたら、どんな気持ちになりますか？
大の仲良しのしんごと、いっしょにあそぶ やくそくをしていたのに
いつまでまっても、しんごはこない。そして、とうとうこなかった…。
すごく楽しみにしていたのに…。それどころが、次の日しんごは、ほくと
あっても、いつもと変わらず、「つりぼりに行こう」という。
「行かない！」と言ってしまっただキリとした。それから、二人は
きまずい仲に…。どうしたら、なかよくなれるかな？

5 ・ 6 年 生 お す す め



「もしもトイレがなかったら」

かとう あつし ちよ しょうねんしゃしんぶんしゃ
加藤 篤:著 少年写真新聞社 (K518力)



もしも、トイレが使えなくなったら、あなたならどうする？
「外ですればいい！」という人がいるかもしれませんが、雨が降ったり、
寒い日だったら困りますよね。しかも、丸見えだと恥ずかしいですよ。
東日本大震災時、電気が止まり、水道・污水管が壊れ、トイレに困った人が
たくさんいたそうです。災害に役立つトイレとは？海外のトイレは日本と違う？
巻末には手の洗い方が載っています。コロナ対策にも！